

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	音 楽				
教 科	芸術科	時間数	1時間	学年・コース	中学2年 全クラス
使用教科書	中学生の音楽2・3上、中学生の器楽(教育芸術社)				
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

表現(歌唱と器楽)と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	1. 歌唱 「夢の世界を」 「翼をください」 「夏の思い出」(中田喜直) 「夏の日の贈り物」等		10月	2. 器楽(ウクレレ) 「夢の中へ」等	
5月	2. 器楽(ウクレレ) 「四季の歌」等		11月	3. 鑑賞 「交響曲第5番」 (ベートーヴェン)	合唱に対する 取り組み
6月	3. 鑑賞 「フーガ ト短調」 (J.S. バッハ)		12月	4. 楽典 ソナタ形式について	第2学期期末考査 (授業内実施)
7月	4. 楽典 「拍子や曲の形式の理解」	第1学期期末考査 (授業内実施)	1月	5. 歌唱 「サンタルチア」等 6. 器楽(ウクレレ) プリント教材等	
8月			2月	7. 鑑賞 「アイーダ」 (ヴェルディ)等 「勸進帳」 「新版歌祭文」から 「世界の諸民族の音楽」	
9月	1. 歌唱 「荒城の月」(滝廉太郎) 合唱コンクールの練習		3月	4. 楽典 「日本の音階」	第3学期期末考査 (授業内実施)

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [曲想とリズムや拍との関わりについて気付いている]
 ② 思考・判断・表現 [リズムや拍を聴き取り、感じ取ったことの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いて]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します